

連絡先：自動車局審査・リコール課リコール監理室
 TEL：03-5253-8111 内線 42354
 アドレス：http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成27年12月3日

リコール届出番号	3709	リコール開始日	平成27年12月4日	
届出者の氏名又は名称	本田技研工業株式会社 取締役社長 八郷 隆弘		問い合わせ先：お客様相談センター TEL 0120-086819	
不具合の部位（部品名）	動力伝達装置（プロペラシャフト）			
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	プロペラシャフトのヨークジョイント部において、ベアリング抜け防止のかしめ圧及びベアリングを保持するハウジングの形状が不適切なため、走行時の摩擦による熱や高い負荷によりベアリング内部が磨耗するものがある。そのため、そのままの状態で行くと、ヨークジョイント部が破損して、最悪の場合、走行不能となったり、プロペラシャフトがスイングアームと干渉し、リヤホイールがロックするおそれがある。			
改善措置の内容	全車両、プロペラシャフトを対策品に交換する。ただし、対策品の供給に時間を要することから、当面の暫定措置として、全車両、プロペラシャフトを点検し、ヨークジョイント部の作動不良が確認されたものについては、プロペラシャフトを新品に交換する。			
不具合件数	1件	事故の有無	無し	
発見の動機	市場からの情報による。			
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメール等で通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、車台番号付近にNo.3709のステッカーを貼付する。 			

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ホンダ	EBL-SC63	「VFR1200F」	SC63-1000020～SC63-1001061 平成22年3月2日～平成22年12月9日	1,042	
			SC63-1100001～SC63-1100326 平成23年1月20日～平成24年1月17日	326	
			SC63-1200011～SC63-1200177 平成24年2月20日～平成24年10月31日	167	
			SC63-1300001～SC63-1300206 平成24年11月6日～平成27年7月13日	206	
	EBL-SC70	「VFR1200X」	SC70-1000005～SC70-1000115 平成26年2月20日～平成27年9月2日	111	
	(計2型式)	(計2車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成22年3月2日～平成27年9月2日	(計1,852台)	

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。